

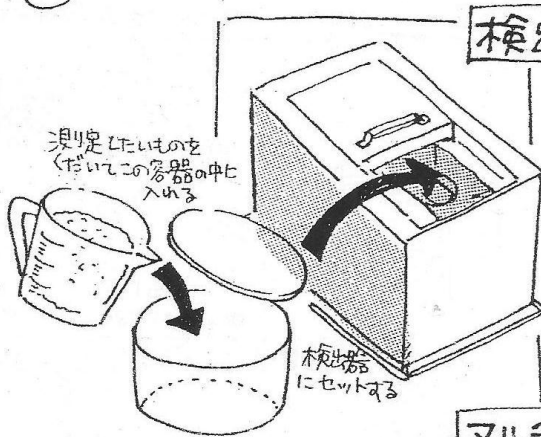
# 放射能測定室だより

発行：小金井市放射能測定器運営連絡協議会

〈事務局〉小金井市緑町3-14-13 TEL/FAX 042-384-5266(中嶋)



## 放射能測定器ってどんなもの？



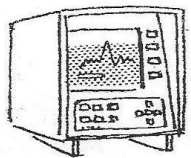
### 検出器



● NaI 検出器を通過するとき放射能が出た光をつかまえる  
\* NaI-塩のしき

みんな  
利用して  
くださいネ...

### マルチチャンネルアナライザ

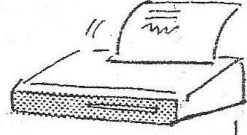


● セシウム134やセシウム137など食品中に含まれている放射能の量をかきえて分析する  
光の数をかきえて 1, 2, 3 わける  
※ 134 137

### パソコン

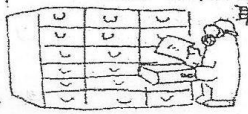
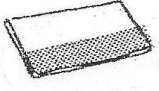


● 分析した放射能を見やすく絵にしたリベグル表示したり記録・記憶・プリントする



プリンターで印字

測定結果を記憶媒体(フロッピーディスク)に記録し保存し、必要時取り出すことができる



協賛会員  
ほしゅうしてます

# 福島第一原子力発電所の事故後を測り続ける

— ともにこの先を歩んでいくために —

本年3月11日に東日本を襲った大震災においては夥しい数の人命が奪われ、広い範囲に亘って甚大な被害がもたらされました。それに続く東京電力福島第一原発での事故による大規模な放射線放出・放射能物質の拡散は、我が国のみならず世界各国に大きな衝撃を与え、汚染は日を追うごとに思わぬところまでにも拡がりをみせています。同発電所は今なお放射性物質を流し続けており、事故はいまだに収束するに至っておりません。

この事故は、チェルノブイリ原発事故後の放射能汚染、ひいては原発とともに生きている私たちの時代そのものを、自身の手による測定を通して考え続けていきたい、と願ってきた私たち協議会にとっても、また新たな一歩を踏み出させるものとなりました。事故後、小金井市民からの食品測定依頼件数は増え続け、また給食食材についても例年の測定時期を早めての対応となる等、さらに幅広く、奥行きのある測定が求められています。私たち協議会は今、この求めに精一杯応えていきたい、と新たな思いで測定に臨み、そしてこの後をどのように測定していくのか、汚染に対して何をしていくべきなのか、を考えていきたい、と捉えています。

この間、事故を受けて、各地のさまざまなグループから、お問い合わせや測定室見学のお申込みがあり、実際にたくさんの方々に測定器と測定の様子を見ていただくことができました。また、いろいろな場所で、測定活動についてお話をさせていただく機会も持ちました。汚染が現実のものとなった今、〈市民が測定の手段を持ち、汚染についての身近な情報を素早く発信していく〉という意味での私たち協議会の活動のあり方が、少しでもこれから測定を始めようとする方々の参考になるとしたら、それは私たちにとって大きな励みとなり、巡り巡って私たちに学びの場を与えてくれるものとなるでしょう。

今回の事故により、私たちはかつて経験したことのない放射能汚染の中を生きていくことになりました。知恵も力も出し合い、横へ横へと繋がることによって、ともにこの先を歩んでいくしかありません。私たち協議会もこれまでの経験を踏まえ、この先長く続くであろう汚染としっかり向き合ってまいります。そしてこのことが、これらの足跡とともに次の世代へ原発のない世の中を残してゆくのだ、と信じております。

今後ともどうかよろしくお願い致します。

2011年 夏

小金井市放射能測定器運営連絡協議会  
会長 香田頼子







## ～ 測定結果の発表にあたって ～



2011年5月

小金井市放射能測定器運営連絡協議会

- 福島原発事故を踏まえて政府が暫定的に設定した食品に関する放射能の基準値（汚染された食品の出荷や販売を規制する基準。規制値とも言う。）は、セシウムの場合、水、牛乳、乳製品は200ベクレル、野菜、穀類、肉、魚などは500ベクレルです。
- 事故以前、日本には基準値というものはなく、チェルノブイリ事故の後出回った放射能汚染輸入食品を規制する暫定限度370ベクレルが設定されていました。  
この値はアジアの周辺国に比べると高いものです。それが、今回の事故で更に引き上げられてしまいました。
- 放射能には、これ以下なら安全という「しきい値」はありません。
- 私達の周囲には食品添加物、農薬、化学物質、電磁波など身体に悪影響を及ぼす有害物質が数多くあります。放射能もその一つと捉えその特性を知り、対処していくことが望まれます。
- 人間には有害物質によって傷つけられた細胞を修復する力が備わっています。放射能を取り込まないようにすることも大切ですが、あまり神経質になり過ぎず、抵抗力や免疫力を高めることでリスクを減らすことも大切です。
- 放射能の影響が大きい乳幼児や子ども、妊婦に一般の大人と同じ基準値を用いることには、批判も多く反対の声が上がっています。できる限り取り込まないようにすることが大切です。
- 国や東京都の機関が行っている測定だけでは全く不十分です。各市町村単位などで測定器を設置して、きめ細かな測定と情報発信を行うことが求められています。

# 小金井市放射能測定室 21+2年のあゆみ

あゆみ	年/月	主な講演会・勉強会
測定室設置陳情書署名開始	88/4	
市議会にて陳情採択	88/6	
	89/7	「放射能ってどんな味?脱原発に向けて、今、私たちができること」 藤田祐幸
協議会設立準備会発足	90/1	
協議会設立総会	90/7/7	「4年目のチェルノブイリ」 小泉好延
測定器設置	90/9	「1990年チェルノブイリ・夏」 藤田祐幸
測定開始	90/10	
	91/7	「くらしの中の放射能」 槌田 敦
保育園・小中学校給食食材測定開始	91/8	
無印良品マカロニから放射能が検出され (株)西友と話し合い	91/11	
藤沢市放射能測定器協議会との懇談会	92/5	
	92/11	「松岡信夫さんと語ろう」 松岡信夫
	93/1	「チェルノブイリ報告を聞く会」 大東 断
「放射能測定室だより」創刊	93/12	
	94/5	「あの日を忘れないために」 山本知佳子
上之原会館に測定室完成	94/9	
 阪神大震災	95/1	
	95/2	「8年目のチェルノブイリ」 小泉好延
協議会メンバーがチェチェルスク訪問	95/4	
 もんじゅナトリウム漏れ事故	95/12	
	96/2	「10年目のチェルノブイリ」 安藤多恵子
	96/9	「放射能を測ること」 高田 茂
	96/10	広可隆一写真展(放射能の爪あと) *1
	97/2	「よくわかる放射能の話」 高田 茂
 東海村再処理工場火災・爆発 同事故に対する緊急測定対応	97/3	「児孫のために自由を律す」 福田克彦
	97/10	チェルノブイリの子ども達の絵画展 *1
	98/1	「97京都会議の報告」 安藤多恵子
	98/2	「CO <sub>2</sub> 削減とこれからのエネルギー」 小泉好延
	98/3	「チェルノブイリからの便り」 神谷さだ子
	98/10	広可隆一写真展 *1
	98/11	「行政とともに進める市民運動」 安藤多恵子
 女川原発放射線源被ばく事故	98/12	「測定値、誤差範囲について」 高田 茂
小金井市との契約書等改定	99/6	
 敦賀原発冷却水漏れ事故	99/7	
 東海村JCO核燃料加工施設臨界事故	99/9	「コネティカット州原子力発電所非常事態対策ガイド」発行 *2
測定器修理	99/11	「東海村臨界事故について」 高田茂
	00/2,6	「放射能入門」 千村裕子、岡本勉
	00/9	「小金井に生かすソフトエネルギー」 大林ミカ
	00/11,01/4	「コージェネレーションについて」 東京ガス
測定器不調のため測定受付休止	01/8-10	
ポルチーニ茸高濃度汚染検出。イタリア料理食材輸入業者に問い合わせ	01/9	

<p>測定器保守点検業務、東洋テクニカ社から日本キャンベラ社に移管 高木学校シンポジウム「くらしの中から変える」に参加、活動報告 測定器不調のため測定受付休止</p> <p>東京都食品安全条例策定に向けた「都民の意見を聞く会」に参加し、意見を述べる 柏市放射能測定室、職員との交流会</p> <p>柏市測定器故障の為測定終了、協議会解散</p> <p>測定器不調のため測定受付休止 監査委員の「事業見直し」の指摘を受け、市長、消費生活審議会宛に「申入書」提出</p>	<p>02/2 02/7 02/8</p> <p>03/2</p> <p>03/2-3 03/4 03/9</p> <p>03/11 04/2 04/9 05/3 05/4～ 05/6</p>	<p>「いのちを守り続けて」川田悦子 「子どもでもわかる放射能入門」 崎山比早子</p> <p>「日本における原発の現状」 東井 怜</p> <p>「家の原子力事故避難マニュアル」 発行 *2</p> <p>「ヒバクシャ」 上映&amp;監督トーク鎌仲ひとみ</p> <p>「地震・津波と原発」 柳田 真</p>
<p>環境市民会議HPに測定結果掲載 行政評価で「廃止事業」とされたことを受けて市長に「要望書」提出 測定事業継続の予算可決 測定器不調のため測定受付を休止</p> <p> <b>中越沖地震・柏崎刈羽原発事故</b></p> <p>ブルーベリーワインより放射能検出 (以降、ブルーベリー製品を重点測定)</p> <p>ブルーベリーの高濃度汚染について東京都福祉保健局食品監視課に問い合わせ ブルーベリーの高濃度汚染について関係市民団体にお知らせ</p>	<p>05/11 06/1</p> <p>06/3 06/4-6 06/10-07/1 06/11 07/7 08/1 08/4 08/9 09/9 10/1</p>	<p>「六ヶ所村ラブソディー」 上映&amp;監督トーク</p> <p>「原発と私たち」 渡辺美紀子</p> <p>「原発なくても電気は大丈夫」 安藤多恵子</p>
<p>ブルーベリー製品について東京都産業技術研究センターにて精密測定</p> <p> <b>東日本大震災・福島第1原発事故</b> 同事故を受けて緊急測定体制</p> <p>HP開設 測定受付を週1回から3回に増加 小中学校・保育園給食測定を前倒しで実施</p>	<p>10/9 10/11 11/3 11/5 11/7</p>	<p>「ミツバチの羽音と地球の回転」 上映会&amp;監督トーク</p> <p>「測定データ読み取りについて」 小笠原強二</p>

\*1 小金井市消費生活展にて

\*2 「小金井に放射能測定室を作った会」メンバーが企画・翻訳して発行

☆作った会発行「はがきニュース 放射能ってどんな味？」 最後号(No.7 1「ブルーベリー物語」)

【2010年度測定結果一覧表】

2010.4月～2011.3月

測定品目		件数	原産国	測定結果(Bq/Kg)
乳製品	粉ミルク	3	不明	10未満
穀類など	上新粉	1	日本	〃
	米ぬか	1	不明	〃
	ホットケーキミックス	1	日本	〃
	オートミール	1	不明	〃
	米	1	日本	〃
	お茶など	紅茶	1	ブルンジ
	インスタントコーヒー	1	不明	〃
	カモミール	1	エジプト	〃
	ジャスミンティー	1	中国	〃
	海産物	ひじき、わかめ	2	日本
キノコ	干し椎茸	1	日本	〃
	干し椎茸	1	日本	12
	ポリチーニ茸	1	イタリア	60
その他	ママレード	1	不明	10未満
	ミネラルウォーター	2	日本	〃
	ローリエ	2	日本	〃
	アーモンドプードル	1	不明	〃
	かんぴょう	1	日本	〃
	塩	1	日本	〃
ブルーベリー製品	ジャム	4	フランス	〃
		1	フランス	50
		1	ベルギー	10未満
		4	ベルギー	29、181、45、24
		1	北欧	42
		1	ドイツ	173
		1	イタリア	45
		2	日本	10未満
		5	不明	〃
		1	不明	40
	サプリメント	1	不明	10未満
ブドウ混合酢	1	不明	〃	
合 計		48		

☆以上の他、保育園、学校給食食材29件を測定しました。

☆3/11後の測定は、1回は計画停電のため中断し、もう1回は昨年収穫された米でした。

【注】

10未満・・・10Bq/kgが検出限界(数値測定できる下限値)です。

測定結果・・・セシウム134とセシウム137の合計値です。

\* 1 国の暫定基準値(500ベクレル)を超えたため、市との協定に基づき協議会としては測定結果を公表できません。なお、市HPには「国の基準値を超えたものの公表は、公の機関で再検査を行い公表についての判断をすることとしています。今回についても再検査を依頼しましたが、国からの検査等で忙しく、市町村の検査は行うことができないとのことでした。そのため、判断する数値が得られない状況があり、残念ながら公表するという結論には至りませんでした」と掲載されています。

\* 2 8/24測定の製茶が、国の暫定基準値を超えたため、24時間の再測定を行いました。その後、市が、一般検査機関(一般社団法人 日本海事検定協会 食品衛生分析センター)に依頼した検査では、1,240(Bq/kg)という結果が出ています。なお、測定結果は市との協定に基づき公表しています。

## 【2011年度 4～8 月の測定結果】

測定日	測定品目	産地	測定結果 (Bq/kg)
4/8	-----	-----	※1
4/15	ルッコラ	市内	55
4/22	ほうれん草	市内	21
5/6	キャベツ	日本(詳細不明)	13
5/11	ネギ	市内	15
5/13	三つ葉	市内(家庭菜園)	195
5/18	ルッコラ	不明	容量不足
5/20	うるい(山菜)	新潟県	12
5/24	桑の実	市内	19
6/7	あしたば	市内(庭に自生)	17
6/10	生茶葉	市内	96
6/27	ほうれん草	東京都日野市	31

測定日	測定品目	産地	測定結果 (Bq/kg)
6/28	なす	福島県	24
7/1	キャベツ	群馬県	15
7/8	いちご	市内(5/14採取)	16
7/12	シソの葉	市内	26
7/26	製茶飲料 (2煎目)	埼玉県飯能市 (家庭菜園)	33
7/26	みょうが	福島県いわき市	70
8/17	麦(もみ殻付き)	市内(家庭菜園)	86
8/19	製茶(8月購入)	静岡県	217
8/24	製茶(新茶)	埼玉県	1569
8/27	製茶(新茶)※2	埼玉県	1579
8/30	製茶	静岡県	229

測定日、測定品目、産地		測定結果 (Bq/kg)
米類	4/1 米(日本、詳細不明)、8/16 玄米(高知県)	10未満
野菜	5/10 春菊(市内)、5/17 大根葉(市内・家庭菜園)、6/1 小松菜(市内)	
	6/3 きゅうり(埼玉県)、6/8 キャベツ(千葉県)、6/21 サニーレタス(市内)	
	6/24 よもぎ(新潟県)、7/6 じゃがいも(市内・家庭菜園)	
	7/15 きゅうり(市内)、8/2 プチトマト(市内・家庭菜園)	
	8/23 よもぎ(8/22採取・市内)、8/26 青じそ葉(東京都府中市・家庭菜園)	
母乳など	5/25、6/14、17、7/13、8/9、10 母乳(市内)、7/27 粉ミルク(日本、詳細不明)	
牛乳	8/12 牛乳(日本、詳細不明)	
水	5/27、8/3 水道水(市内)、6/16 井戸水(市内)	
乾物	5/31 干し芋(茨城県)	
卵	6/22 卵(岐阜県)	
魚、海藻	7/5 あじ(長崎県)、8/5 背黒イワシ(千葉県)、8/31 刺身わかめ(韓国)	
肉	7/27 鶏肉(宮崎県)、7/28 鶏肉(岩手県)	
お茶など	7/28 製茶(5月購入、静岡県藤枝市)	

以上の他、保育園、学校給食食材27件を測定しました。

27検体全て10(Bq/kg)未満(検出限界値以下)でした。

# はかってほしい時は

- 1** 市役所経済課に問い合わせの電話をしてください。

042-387-9831



- 2** 検定日の指定があります。



- 3** 指定日の朝9:00に検体(測りたいもの)を上之原会館に持参し、協議会測定者に渡します。

\*検体は細かく砕いておくこと  
\*上之原会館 武蔵小金井駅北口5分

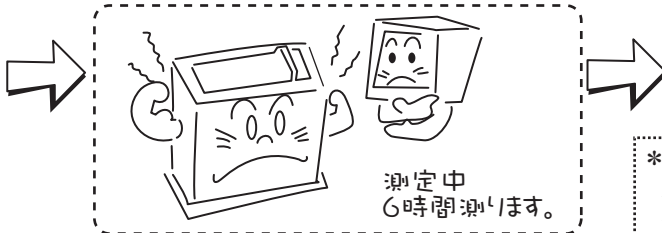
042-381-9911



- 4** 受付表に必要事項を記入



- 5** 検体と測定結果を記入した通知表を受け取ってください  
(受け取り方法は協議会と相談してください)



\*測定結果が国の暫定基準値を超えた場合は、別途精密測定を行いますので、持参いただいた検体は返却できません。



タッパーに入れて測定します。

☆ 200ccの容量が必要です  
(スパゲッティでは150gくらい、生いたけでは210gくらいなど、食品によって重量が異なります。)

☆ 食品に限ります

☆ 無料です

